

各 位

上場会社名 日東精工株式会社

代表者 代表取締役社長 材木 正己

(コード番号 5957)

問合せ先責任者
財務部門担当取締役

松本 真一

(TEL 0773-42-3111)

中期経営計画策定に関するお知らせ

当社は、この度、2023年を初年度とし2025年までの3か年の事業運営に関する中期経営計画「Mission G-second」を策定しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

当社グループは2019年に10年後の経営ビジョンとして『世界中で認められ、求められる「モノづくりソリューショングループ」を目指す』を掲げ、その第1ステージとして4か年の中期経営計画「NITTOSEIKO Mission "G"」をスタートしました。5つの戦略テーマで、事業領域の拡大やグループシナジーの向上を中心とした取り組みを実践してまいりました。

今年度から、第2ステージとなる3か年の中期経営計画「Mission G-second」を策定しました。

Gの意味する Group's Global Growth を継承し、事業の成長と安定基盤の確立を重点とする 4 つの成長戦略で、ステークホルダーから高い信頼と、将来が期待される持続可能な企業を目指していまいります。

1. 中期経営計画名称 Mission G-second

2. 対象期間 2023年1月1日~2025年12月31日

3. 戦略テーマ 4つの成長戦略で持続可能なグループへ

4. 最終年度目標 Growth#1 事業拡大戦略

目 標:・売上高 60,000 百万円

· 営業利益 5,160 百万円

Growth#2 環境戦略

目 標:・CO2削減率12% (2019年比)

· 廃棄量 原単位 5 %削減 (2019 年比)

Growth#3 人財戦略

目 標: · 労働生産性の向上 24%UP (2022 年度比)

・従業員エンゲージメント 3.8 ポイント

Growth#4 財務戦略

目 標: · ROIC 8%以上

·ROE 9%以上

以 上

日東精工グループ 中期経営計画2023-2025

Mission G-second







中期経営計画 Mission G-second

2023年度~2025年度の中期経営計画「Mission G-second」は、2028年の経営ビジョンである『世界中で認められ、求められる「モノづくりソリューショングループ」を目指す』の第2ステージとなります。

各事業セグメントに求められる課題を分析し、強みを活かした事業展開で更なる成長を目指すとともに、高効率な財務体質と事業活動による信頼と安心の企業づくりを実践していきます。また、当社創業からの道しるべである「我らの信条」を体現できる人づくりに努め、高いエンゲージメントでサステナビリティ社会の実現を目指します。

経営ビジョン

『世界中で認められ、求められる「モノづくりソリューショングループ」を目指す』

戦略テーマ

4 つの成長戦略で持続可能なグループへ

経営目標

(2025年)

Growth #1

売上高 **600**億円

営業利益 **51.**⁶億円 Growth #2

CO2排出量 **12%**削減

> 廃棄量 **5%削減**

Growth #3

労働生産性 **24**%UP

ェンゲージメント **3.8**P以上 Growth #4

ROIC

8%以上

ROE

9%以上

Growth #1 事業拡大戦略

▶事業拡大、経営効率のためのグループ最適化▶お客さま目線のソリューション活動▶コア・コンピタンスを活かした事業別成長戦略

Growth #2 環境戦略

▶経営改善につながるガバナンス体制の強化▶持続可能な社会につながる地方創生活動▶事業活動全てにおける環境への対応

Growth #3 人財戦略

人権課題への積極的な取り組み★健康で幸せを感じる働きやすさの追求★求める人財の育成と活用

Growth #4 財務戦略

▲ QCD向上につながるDXの実践 ▲ 指標管理による投資効率の追求



GROWTH#1 事業拡大戦略

➤コア・コンピタンスを活かした事業別成長戦略

- ▶お客さま目線のソリューション活動
- ▶事業拡大、経営効率のためのグループ最適化

2	0 2	2年度実績	(百万円)
---	-----	-------	-------

売上高	44,021
営業利益	2,931

2025年度目標(百万円)				
売上高	60,000			
営業利益	5,160			

【事業セグメント別成長戦略】

新しい事業スタイルの確立

- ・グループ製品力を使った複合部品の製造販売
- ・知財ビジネスの拡大

既存事業の拡大

- 国内向け製品の海外販売展開
- ・グループ販売ネットワークの共有及び効率化・欧米、成長国への販路拡大

製品力強化

ァ

ス

\$

- ・CASE関連製品の商品力強化
- ・サステナビリティに求められる商品開発
- ・圧造+切削加工製品の120%提案の実施

グループ力強化

- ・グループ技術力、品質管理体制の強化 ・グループ購買体制及びシステムの構築 ・グループ生産体制の効率化

1 スター ゲ y

CASE関連事業







FY2022⇒FY2025

FY2022⇒FY2025 ROS

販売力強化

- ・海外拠点化による販売エリアの拡大
- ・ローカルSlerとの連携による自動化支援体制の拡充 ・タイをハブ拠点とする東南アジア市場のエリア拡大
- ・他企業との提携による販売ネットワー
- ・グループ内システム製品の効率的な販売体制の構築

製品力強化

- ・製造拠点の拡充による生産能力の向上
- ・産業機械におけるお客さま目線でのグループ最適化
- ・スケールメリットを活かした購買改革の実施

サービス体制の強化

- ・設備メーカとのサービス対応の連携・海外パーツ販売のコスト、納期改善・セグメント全体のスキルアップ

技術力の強化

- ・ねじ締め分野の先行開発による付加価値の向上
- ・業界、文化、地域性に特化した製品ラインナップ ・多様な人財活用による開発速度の向上

1 スターゲ

ッ

CASE関連事業



海外向け販売

事業領域拡大

FY2022⇒FY2025

FY2022⇒FY2025

新事業の確立

- ・燃料プロセスへ参入
- カーボンニュートラルビジネスへ参入

既存事業の拡大

御

1

力

ル

- 検査・計測領域の拡大
- ・宅盤、土木領域の拡大
- ・分析領域の拡大

海外事業展開

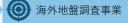
- ・海外規格製品の開発
- ・欧州事業の拡大
- ・中国、韓国、タイエリア 受注強化

1 スタ I ゲ

y

環境関連事業





E V / L I B事業

FY2022⇒FY2025 5%

FY2022⇒FY2025

Mgインプラント上市に向けた取り組み

- ・生物学的安全性試験による素材安全性の確立
 - 動物実験による安全性とインプラント性能の確立
- ・治験の実施とその成果 (上市に向けた最終ステップ) ・PMDAの製品承認
- 医療機器が製造できる品質管理システムの構築
- ・安全性が担保された製造ラインの確立
- ・一貫生産ラインの構築

製品開発・拡販

- 医療用照明器具の拡販
- 医療機器の開発
- ・高純度Mgの高強度・高品質細線販売

用 化 市 投





GROWTH#2 環境戦略

- ▶事業活動全てにおける環境への対応
- ▶持続可能な社会につながる地方創生活動
- ➤経営改善につながるガバナンス体制の強化

2025年度CO₂削減率12% (2019年比)

2025年度廃棄量 原単位5%減(2019年比)

【CO₂削減へのプロセス】

2019年度実績(t)

12%削減

2025年度実績(t)

CO₂排出量 (Scope 1,2)

30,553

CO₂排出量 (Scope 1,2)

26,947

2030年30%削減(2019年比)

- ・再エネ電力への切替
- ·太陽光発電設置
- ・生産工程の見直し

産機・制御事業

カーボンニュートラル化

2050年カーボンニュートラル化

ファスナー製造のエネルギー転換

ファスナー事業カーボンニュートラル化



【廃棄量削減】

2025年原単位5%削減(2019年比)原単位(不要物廃棄量/売上高)

- ・工程内良品率の向上
- ・切削加工から圧造製品への転換
- ・リサイクル、リユースの促進
- ペーパーレスの推進





・加工効率の向上

【お客さまへのESG支援】

お客さまの

メリ

冷間圧造部品

- ・タップタイト製品のラインナップ拡大
- ・軽量化部品締結の対応
- 異種金属接合の多様化
- ・切削加工から冷間圧造への転換
- ・新しい締結技術の開発

産業機械

品別

の

)取り組

- 製品の軽量化
- ・製品の省電力化
- ・自動化の推進
- ・環境対応製品の販売
- ・製品精度の向上

医療機器

・生体内溶解性インプラントの実用化

・お客さまの加工工程の削減

- ・軽量化に対する品質対応
- ・お客さまの部品点数削減
- ・調達部品のCO₂削減
- ・作業効率向上、リサイクル化の支援





d

- ・働き方改革

・ロボット、搬送システムの電力削減 ・工場の省電力化

- ・生産性の向上
- ・製品ロス低減

・医療負担の削減

・精神的負担の削減

治療、手術回数の削減







【地方創生活動】

環境づくり

- ・多目的施設の運営資金支援 ・地域SDGs活動への参画
- ・モデルフォレスト活動
- ・地域活動を支援する風土づくり

産業振興

- ・地域経済牽引事業の推進
- ・協力会社との情報交換、支援
- ・中小企業振興団体との連携

- · 次世代若手技術者養成制度
- · 長期派遣留学生奨学金支援制度

次世代育成

- · 奨学金制度
- ・学校での人づくり教育 ・受験生応援ねじ

健康増進

・スポーツ施設の運営資金支援 ・従業員家族の無料健康診断





GROWTH#3 人財戦略

- ▼求める人財の育成と活用
- ➤健康で幸せを感じる働きやすさの追求
- ▶人権課題への積極的な取り組み

2025年度労働生産性の向上 24% UP (2022年度比)

2025年度従業員エンゲージメント 3.8ポイント

ビジョンの実現・事業の成長

FY2022→FY2025 **労働生産性**

24%up

FY2022→FY2025 エンゲージメントスコア

3.5p**⇒**3.8p

求める組織

マテリアリティの解決に向け すべての従業員が 成長・活躍できる会社

求める人財

社是「我らの信条」を体現する人財

健康・品性・誠実・知識と技術 品質・改善・明るい職場・貢献

人的資本の最大化

KPIによる管理と可視化

- 教育時間や参加率関連
- ・定着率関連
- ・育成満足度関連など
- · 管理職比率関連
- ・障がい者雇用率関連
- ・なでしこ偏差値関連など
- ・健康経営偏差値関連
- ・業務上障害、疾病度関連
- ・総労働時間関連など
- 労働協議、労使協定関連
- ・有休取得関連
- ・労働環境満足度関連など

人財育成



- 教育単位制度
- 均等な学びの機会
- 次世代後継者育成
- 生涯教育・リカレント
- 自律的キャリア形成
- 自発的な学びの機会 グローバルリーダー育成
- 知の探索

多様性 👭

- 人権尊重
- 多様な人財の採用・活躍
- シェアドリーダーシップ
- 女性リーダー創出
- 外国人リーダー創出
- 女性技術者の拡大介護離職防止
- 育児者支援

健康安全



- 安全・安心な職場
- 心理的安全性
- 健康知識の共有
- ウェルビーイング向上家族まるごと健康
- 福利厚生の充実
- 値利厚生の允更
- 働き方改革 (時間、キャリア、場所)

労働慣行 🌾

- 労使協調
- 改善活動
- 多能工化
- 連続有給休暇の促進

人的資本への投資



GROWTH#4 財務戦略

- ▶資金管理の最適化による財務体質の向上
- ➤指標管理による投資効率の追求
- ➤QCD向上につながるDXの実践

2022年度実績				
ROIC	5.4%			
ROE	5.9%			

2025年度目標				
ROIC	8%以上			
ROE	9%以上			

WACC **6.7**%



FY2025 ROE 9%bl F

2025年度税引後営業利益 **35.**9_{億円}

売上拡大

- ・成長事業への拡販
- ・事業領域の拡大
- ・販売エリアの拡大

売上原価率の削減

- ・高付加価値製品の開発
- ・生産性の向上
- ・購買調達の効率化
- ・ロスの削減

販管費率の削減

- ・事業PFの最適化
- ・情報管理の効率化
- ・IT・RPAの推進
- ・販売管理の効率化

2025年度投下資本回転率 **1.4**回転

運転資本回転率の向上

- ・ 債権管理の強化
- ・在庫管理の適正化
- ・歩留ロスの削減

固定資産回転率の向上

- 生産設備能力の向上
- ・設備の統廃合
- ・グループ生産の効率化
- 不動産の最適化
- ・政策保有株式の見直し

資本コストの削減

- ・CMSによる負債の圧縮
- ・リスク分析と開示